

平成26年度黒潮町一般会計補正予算

佐賀地区避難タワー
5億5千万円で建設

平成26年度黒潮町一般会計補正予算

この補正予算は、既決の予算に歳入歳出それぞれ7億980万円を追加補正し、歳入歳出総額を109億9373万円とするもの。可決(全員)

主な補正

歳入

- 地方交付税 1億1495万円
- 国庫支出金 5279万円
- 国土木施設災害復旧事業費負担金 1267万円
- 県補助金 5730万円

○繰入金

公債費の繰上償還を定期預金満期分で調整した。

△2億348万円

○繰越金

平成25年度決算の確定により 1億2651万円

○雑入

缶詰工場整備に全国市町村振興協会助成金 300万円

○町債 5億5876万円

・防災対策事業債(避難タワー建設事業) 5億6260万円

・臨時財政対策債 △1263万円

・社会福祉債(蜷川健康支援センター耐震改修事業) 560万円

・農業債(施設園芸振興事業) 400万円

・現年補助災害復旧事業債 △80万円

歳出

■佐賀地区避難タワー建設事業

タワーの規模は、180人の避難を想定し、プラットの地上高が22m、屋根を含めると25mとなる。

5億5180万円

■集落活動センター佐賀北部の拠点施設である旧拳ノ川保育所の調理場の改修、およびバリアフリー化等の費用 1430万円

■土佐佐賀駅のバリアフリー化を行うための土佐くろしお鉄道株式会社への負担金 160万円

Q 藤本 岩義議員

負担金補助及び交付金160万円は、3700万円の工事でバリアフリーをするとのことだったが、どんな形にするのか。

A 武政 総務課長

事業費が3700万円で、町の負担分が160万円。

この工事で跨線橋(こせんきょう)を撤去し、駅舎から直接ホームへの乗り入れができるような踏切を設置して、線路からホームへはスロープを取り付ける。



武政 総務課長

Q 明神 照男議員

跨線橋を撤去することだが、線路を横切るようなやり方となるのか。その場合、一般の人もその踏切を横切るようになり、別の形の危険が発生するのではないか。

A 武政 総務課長

先に踏切とスロープを造り、その後に跨線橋を撤去する。佐賀駅は、下り線のみ踏切を設置して、ホームへ移動することになる。下り線に現在

ある列車の停止装置を、高知方面に若干ずらすだけで踏切が設置できる。また、跨線橋も耐用年数のことがあり、撤去しての工事となった。



撤去予定の跨線橋(左側奥:土佐佐賀駅)

○上川口港の製氷施設の更新。佐賀漁港の活餌供給販売体制の構築。単価差益を補てんする漁業生産基盤維持向上事業費補助金 1234万円



上川口港の製氷施設